

市立病院だより



鶏頭（けいとう） ※別名「鶏冠花」（けいかんか）、「韓藍」（からあい）

～ 「病院らしいが病院くさくない病院」をめざして ～ 病院管理者 武富 章



当院は昭和34年（1959年）筑豊労災病院として開設以来、50年以上にわたり地元の中核病院の1つとして、医療・健康増進に取り組んできました。ところが、社会構造や人口構成は当時と比較すると大きく変化しています。それに伴い、疾病構造も変化し、医療技術も高度化しています。このような変化に対応するため、当院は、一部建替えを行うことになりました。現在の西病棟の南側に新病棟を建設したうえで、病棟の全部と外来・手術・検査部門の大部分を新病棟に集約し、事務室等の管理部門を

現在の東病棟に移転させる計画です。病室面積を広くして病棟でのリハビリテーションを実施しやすくすることをはじめ、救急部門の拡充、手術室の増設、各種検査・治療機器の更新など、急性期から回復期に至るまでの各段階で、持てる機能を十分に発揮できるような病院にしたいと思えます。設計事務所には、「華やかな装飾は不要、それでいて明るさや落ち着いた感じられるような癒しの空間」を演出してほしいと依頼しています。

言い換えれば、「どこから見ても病院だとすぐわかる」けれど「患者の皆様の不便をできるだけ小さくする」ような病院、さらに言い換えれば「病院らしいが病院くさくない病院」です。新病棟建設にあたって参考にさせていただきますので、当院を利用いただいている皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。



脊椎脊髄外来：脊椎の加齢変化

総合せき損センター 森下 雄一郎、高尾 恒彰



森下 雄一郎



高尾 恒彰

みなさん、脊椎脊髄の病気について必要以上に怖がっていませんか？

人間、誰もが齢をとると頭髪に白髪、奇麗なお顔にもシワ、シミが目立ちます。脊椎脊髄の病気も同じです。

人間の体には、“脊椎”という大黒柱があり、この大黒柱のおかげで立ったり座ったりすることができます。それぞれの椎体（一つの背骨）は、前方は“椎間板”という軟骨（クッション

のようなもの）で連結、後方は“椎間関節”という、いわゆる関節で制動されており、積み木のように崩れることなく自由に体を動かすことができます。

ところが、一般的に20代後半から30代にかけて、誰もが椎間板の‘変性’（水分がなくなってきて、クッションの役割が損なわれてきます）が起こってくると言われています。このクッションの機能が悪くなると、後方の椎間関節にも‘変性’が起きます。これは、誰にでもおきる普通の加齢変化です。

さて、皆さんがよく口にする“ギックリ腰”とは、この変性した椎間板や椎間関節に過度の負担がかかってくると急性に発症します。ギックリ腰になった方は思い出して下さい。中腰姿勢で重いものを抱えた時に起こっていませんか？椎間板にかかるストレスは中腰姿勢で最も高く、強いストレスにより炎症がおきて痛みをおこします。つまり、“ギックリ腰”を予防するには、中腰姿勢で不用意にモノを抱えないこと、モノを抱えるときは片膝をついて持ち上げること、など、日常生活動作で予防することは可能です。

あらためて、総合せき損センターの森下雄一郎と申します。総合せき損センターから私と高尾恒彰先生が、隔週の金曜日午後には脊椎外来を開いております。脊椎疾患にてお困り、お悩みの方は、整形外科をご受診下さい。専門的な治療が必要な方、きっと我々が手助けできると思います。



糖尿病患者会に入会して、良かったことは

「あかね会」 会員 手倉 肇

糖尿病で検査入院（教育入院）をしました。入院中は主治医の先生や看護師さんに、この病気で見分らないことを、色々聞くことが出来ましたが、退院後、周りに同じ病気で相談出来る人は、いませんでした。

月1回の検診、その時の検査結果が良くても、視力障害や神経障害、腎障害など将来の不安は、いつもありました。唯一相談出来る主治医の先生と接する時間にも、限りがあります。

そこで、糖尿病患者会「あかね会」に入会しました。「あかね会」に入会して良かったことは、

- ①「あかね会」の行事に参加して、他の患者さんの体験談を聞いて参考になることは、自分に取り入れて、改善していけることがあります。
- ②本を読んで勉強するのも良いが、仲間から聞いた方がわかりやすい。
- ③「あかね会」で正しい知識を得ることが出来ると、テレビCMや健康食品業界のウソの情報にも、まどわされないようになります。
- ④病気のことを話せる相手がいる人は、血糖値が低く、一人暮らしやストレスが多い人は、血糖値が高くなるというデータもあるそうです。

病気から目をそらしがちな患者さんに、「あかね会」は、とても有効です。糖尿病を悲観せず、「あかね会」の行事に参加して、この病気と仲良く付き合いましょう。



安全で安心な予防接種の受け方

小児科科長 牟田 広実



- ・ 予防接種は子どもを病気から守るためとても大切なものです。でも、保護者にとっては、数多くの中から、何を、いつ受けるかなど、わからないことも多いと思います。そういう時は遠慮なくご相談ください。今回はお問い合わせの多い2つについてお答えします。

Q. なぜ、同時接種が必要なの？

A. 予防接種で守れる病気には、かかりやすい時期があり、接種には最適なタイミングがあります。特に生後2ヶ月から接種できるヒブ、肺炎球菌ワクチンは、細菌性髄膜炎などの命を落としたり、後遺症をきたしたりする重症な病気に対するワクチンです。また生後3ヶ月から接種できる三種混合ワクチンに含まれる百日咳も、小流行を繰り返しており注意が必要です。これらと結核に対するBCGと合わせると10回にもなります。また近日中には重症な胃腸炎をきたすロタウイルスに対するワクチンも接種できるようになりますが、ますます過密になります。しかし、これらの予防接種の効果を最大限に発揮するためには生後6ヶ月までに終えるのが理想ですが、単独接種では日程的に完了できません。予防接種の効果を最大限に活かす方法、それが同時接種なのです。

Q. 同時接種は安全なの？

A. ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの同時接種後に死亡したお子さんがあったとの報道がされ、不安に思われている方も多いと思いますが、厚生労働省の検討会でも接種が死亡の原因とは言えないとしています。またWHO（世界保健機関）も同時接種を推進しており、同時接種をしたからといって副反応が増えたという報告はこれまでありません。



飯塚市立病院マラソン同好会

部長 川上 知恵



こんにちは、マラソン同好会です。私たちは飯塚市立病院初の同好会として平成23年2月に発足しました。活動内容は、月1回の合同練習と全国の大会に参加することで、活動目標は飯塚市立病院を広く知ってもらうことです。

私たちが初めて参加した大会は23年4月上旬に開催された海の中道はるかぜマラソンです。はるかぜマラソンで団結力の深まった私たちは23年4月下旬に宗像ユリックス24時間E K I D E Nにも参加しました。限られた時間の中で24時間走りぬぐため、テントや食事の準備、応援旗の作成をみんなで行いました。結果、24時間タスキが途切れることなく走りぬぎ、83チーム中34位という成績を収めることができました。

今後は、23年10月上旬に筑後川マラソン、23年11月上旬に下関海峡マラソン、23年11月下旬に嘉麻シティマラソンに参加予定です。

それぞれ違う職種の人たちが集まって構成された同好会ですが、同じ目標を持つことで、互いを知り、絆を深めることができました。マラソン同好会の活動が追い風となり、病院全体が活気づくよう、今後も各地の大会に積極的に参加していきますので、応援よろしくお願いします。

飯塚市立病院外来担当表

2011年11月1日現在

診療科	受付時間	診察室	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	午前 8:20-11:30	1	派遣医師	(新患)園田 知丈	派遣医師	派遣医師	栗原 隆二	当直医1名 以外に 交代で1名 (計2名)
		2	園田 知丈	栗原 隆二	(新患)栗原 隆二	(新患)栗原 隆二	福間 道雄	
		3	(新患)西田 紗季	武富 章	武富 章	西田 紗季	(新患)西田 紗季	
		4	鍵山 裕	鍵山 裕	派遣医師	鍵山 裕		
		5	古賀 康秀	循環器専門医	古賀 康秀	循環器専門医	古賀 康秀	
		6			西嵩 慎二	平井 敬佑(隔週)	西嵩 慎二	
		7	出口 智弘		園田 知丈	出口 智弘		
		8		中島 信治(塵肺)				
小児科	午前 8:20-11:30	1	牟田 広実	牟田 広実		牟田 広実	牟田 広実	
	午後 14:30-16:00	1	牟田 広実	牟田 広実		牟田 広実	牟田 広実	
外科	午前 8:20-11:30	1			今村 真大		野口 純也	交代で1名
		2	古川 哲	古川 哲	岡部 正之	兒玉 孝仁	岡部 正之	
		3	日野 東洋	野口 純也	吉田 純	吉田 純	日野 東洋	
整形外科	午前 8:20-11:30	1	西尾 謙吾	西尾 謙吾	舌間 寛士(第1,3,5週) 派遣医師(第2,4週)	西尾 謙吾	舌間 寛士	
		2	吉田 拓也	吉田 拓也	山浦 資智	舌間 寛士	清田 光一	
		3		清田 光一				
	午後 13:00-14:30	1					派遣医師(第2,4週) (脊椎・背髄外来)	
		2	田丸 幸一	田丸 幸一			田丸 幸一	
		3	吉田 拓也	吉田 拓也				
脳神経外科	午前 8:20-11:30	1					派遣医師	
	午後 14:00-16:00	1	派遣医師					
皮膚科	午前 8:20-11:30	1	市川 竜太郎	市川 竜太郎	市川 竜太郎	市川 竜太郎	市川 竜太郎	
		2		佐々木 誉詩子	佐々木 誉詩子	佐々木 誉詩子	佐々木 誉詩子	
泌尿器科	午前 8:20-11:30	1	多田 勝	多田 勝	多田 勝	多田 勝	多田 勝	
	午後 13:00-15:00	1			派遣医師		派遣医師	
眼科	午前 8:20-11:30	1	佐藤 涉	佐藤 涉	佐藤 涉	佐藤 涉		
		2	西尾 陽子	西尾 陽子	西尾 陽子	西尾 陽子	西尾 陽子	
		3	吉澤 良子		吉澤 良子	吉澤 良子	吉澤 良子	
耳鼻咽喉科	午前 8:20-11:30	1		派遣医師		派遣医師	派遣医師	
		2	朝信 輝樹	朝信 輝樹	朝信 輝樹	朝信 輝樹	朝信 輝樹	
	午後 13:00-15:30	2	朝信 輝樹		朝信 輝樹		朝信 輝樹	
リハ科	午前 8:20-11:30	1	武富 章					

※医師の予定は、都合により変更があります。(ご不明な点は各科診療窓口へご確認ください。)

※小児科の午後診察は、市の健診や予防接種に出務のため不在の場合がありますので、事前にお電話でお問い合わせ下さい。

※整形外科(水曜日のみ)の初診患者様の受付は、8:20-11:00です。

※休診日：土曜日午後・日曜日・祝日・12月29日～1月3日(年末・年始のため)

※面会時間：月～金曜日/13:00～19:00、土・日・祝日/11:00～19:00

※毎月第1水曜日の眼科 西尾医師の診察は休診となります。但し、第1水曜日が祝日の場合は、第2水曜日が休診となります。

■看護師募集

雇用形態：正職員、臨時職員
年齢条件：60歳未満

※詳細は、0948-22-2980
(内線422)総務課
宮崎までご連絡ください。

飯塚市立病院は“優しい心、深い知識、確かな技術”をもって患者様本位のあたたかい医療を提供し、市民の皆様様に愛され親しまれ、信頼される病院をめざしています。看護師としてあなたも一緒に参加しませんか？

看護部 平田 ひろみ看護部長



■基本方針

- 1.すべてのスタッフによるチームケアをより一層推進する。
- 2.地元医師会および他の医療機関との緊密な連携を保ち、市民が安心して受診できる医療体制づくりを進める。
- 3.救急医療から慢性疾患のフォローアップまで幅広い診療を実践できる体制を整える。
- 4.へき地支援病院として、医療過疎に悩む地域への医療支援を行う。
- 5.臨床研修指定病院として、地域医療をめざす医師のために質の高い基礎教育を行う。

■基本理念

“優しい心、深い知識、確かな技術”をもって、患者様本位のあたたかい医療を提供し、市民の皆様様に愛され、親しまれ、信頼される病院をめざします。

MED 公益社団法人 地域医療振興協会 飯塚市立病院
Japan Association for Development of Community Medicine

〒820-0088 飯塚市弁分633-1
TEL:0948-22-2980 FAX:0948-24-3812
HP:<http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/iizuka/html/>

